

---

## 国産材使用や日本製家具の販売台数が昨年比約 5 倍に

### 未だ続くウッドショックの影響で国産材と日本製商品が人気に

---

家具通販専門店 カヴァースを展開するカヴァースジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：青木康裕）では、長引くウッドショックにより木材価格が高騰している中、国産木材を使用した商品や日本製の商品への人気の集中と注文の増加が起きており、販売台数は昨年比 5 倍となっています。

特に、職人が国産材を使用して作ったベッドやダイニングテーブルなど、「長く使える家具」への関心と注文が増えている点が特徴です。

#### 【国産材を使用した家具に人気が集まる背景】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により需要が高まった住宅建築ですが、それにより建築用木材の供給が需要に追いつかない事態が発生しています。

この事態は住宅だけでなく家具業界にも影響しており、原材料の高騰により商品の販売価格の見直しが進んでいます。

価格の見直しと共に進んでいるのが、木材不足を国産材で解消しようとする動きです。特にひのき材は 2021 年 9 月において、前年末比 76% の大幅な価格上昇がみられており、国産材の活用の本格化が進んでいることがわかります。

このような状況を鑑みた農林水産省・林野庁・国土交通省は、国産材の安定供給体制の構築に乗り出しています。

また、原材料の高騰に伴い、「国産の高品質な材料を使用し、確かな技術で作られた高価値の商品を長く使いたい」という消費者の意識の変化も見られます。こうした「本物志向」への変化は、長い時間を共に過ごす家具を選ぶ際にも表れています。

#### 【国産材を使用した家具へ集まる関心と注文】

そんななか、カヴァースジャパン株式会社では「国産」や「日本製」というキーワードを冠した商品の販売台数が大きく伸びています。「国産」・「日本製」のいずれかのキーワードが入った商品の販売台数は、2021 年 3 月では 22 台。対して、2022 年 3 月における販売台数は 104 台と約 5 倍となっています。

ウッドショックが表面化したとされる 2021 年 3 月より順調に販売台数が伸び続けていることから、国産材を使用した家具や日本製商品への関心の高さがうかがえます。

なかでも、国産材を使用することでより上質な睡眠を提供するベッドや、100 年以上にわたって磨かれた技術により作られたダイニングセットなど、世の中の状況と消費者の意識改革が合わさったことによる、「長く使える家具」への関心と注文が増えています。

また、国産材を使用した商品への関心の高まりを受け、カヴァースジャパン株式会社では「家具の本質」を楽しめる「カヴァースプレミアム」というサイトを開設。生涯愛せる家具と、長く暮らすことを提案しています。